

2021年11月24日

令和元年度草の根・人間の安全保障無償資金協力（アンティグア・バーブーダ）  
ギルバート農業・地方開発センターホスピタリティ訓練施設建設計画に関する完成式

11月24日、アンティグア・バーブーダのギルバート農業・地方開発（GARD）センターで、令和元年度草の根・人間の安全保障無償資金協力であるギルバート農業・地方開発センターホスピタリティ訓練施設建設計画の完成式が行われました。GARDセンターは、日本政府の供与額89,629米ドルの無償資金を利用し、新たに職業訓練施設を建設し、観光産業に従事する若者に向けた研修機会を提供する予定です。

本式典には、ウィリアムス総督、平山大使、フランス駐日大使（本国駐在）、ガルブレイスGARDセンター理事長、レウイス同副理事長、ジャクソン同専務理事、アンティグア観光省、農業省、報道関係者等が出席しました。

平山大使は挨拶の中で、アンティグア独立40周年にお祝いを述べるとともに、昨年1月の本件署名式に続いて本日の完成式に出席でき光栄、コロナ禍で本件施設が予定通り完成したことを歓迎、関係者の尽力に感謝すると述べました。また、当国の観光客は戻りつつあり、観光産業に従事する若者への訓練機会を提供する本施設の完成は時宜を得たものである、本センターが新たな両国協力の象徴となることを期待すると述べました。

フランス駐日大使は、当国国民の生産性向上は極めて重要なことであり本施設の必要性は高い、日本は長い間、当国に対し水産分野等への協力を継続している重要なパートナーであり、心から感謝する、観光産業は当国にとり最も重要な分野であり、日本からも多くの観光客が来訪することを期待すると述べました。また、GARDセンター出席者は、本施設は昨年8月に建設が完了し、機材調達も進んでいる、同施設を活用した訓練が来年1月から始まる予定で、日本からの3度目となる支援に対し、深く感謝すると述べました。

日本政府は、今後とも両国の友好関係と相互理解を深めていくため、様々な分野でアンティグア・バーブーダに対する支援を実施していく考えです。

お問い合わせ  
在トリニダード・トバゴ日本国大使館 経済・開発協力班  
Tel: (868)-628-5991/3 Ext. 222  
E-mail: [ecocoop@po.mofa.go.jp](mailto:ecocoop@po.mofa.go.jp)





平山達夫大使によるスピーチ



フランス駐日大使によるスピーチ



ジャクソン GARD センター専務理事によるスピーチ



新しく完成した施設でのリボンカット  
(左から、ガルブレイス GARD センター理事長、ジャクソン同専務理事、ウィリアムス総督、平山大使)



新施設内の視察

お問い合わせ

在トリニダード・トバゴ日本国大使館 経済・開発協力班

Tel: (868)-628-5991/3 Ext. 222

E-mail: [ecocoop@po.mofa.go.jp](mailto:ecocoop@po.mofa.go.jp)

